

1. 都道府県の目標値の分析

浅野昌彦(国立保健医療科学院政策科学部)

健康日本 21 における目標値の設定に関する分析

浅野昌彦

1.はじめに

本研究事業では、現在までに健康日本 21 計画の目標値に関する様々な研究を行われてきた。本稿では特にこれらの研究成果を横断的に取り扱い、健康日本 21 計画の目標値についてさらに分析を進めたいと考えている。

本稿の目的は、健康日本 21 計画で設定された目標値が、実際に政策担当者や専門家らの問題意識を反映したものとなっているのかについて明らかにすることである。具体的には、浅野(2003)で作成した都道府県健康日本 21 計画の目標値一覧と、松本(2002)で集計された都道府県策定担当者、専門家らへの疾病の自然史に関する 8 分野の指標に対する重み付けのためのアンケート調査を総合させる形で分析を試みる。なお、健康寿命の指標など健康日本 21 で直接にカバーされないと考えられる指標に関しては、適宜分析対象から除外してある(詳しくは後述)。

2.方法

松本(2002)で設定された 8 分野 48 指標の中から、それぞれの指標のキーワードを抜き出し、浅野(2003)で作成された一覧表を検索した。松本(前掲)の中の表(末尾にある表 1 参照)には、各分野の評価指標とともにそれに対応する国計画における目標が対応して記載されている。しかし、本稿では都道府県計画を対象としている。当然のことながら地方版の計画は、国の目標と全く同じ目標を設定しているわけではない。また、地方の計画の間にも相違が見られ、最終的には同じような目標を目指していても、実際の文面では非常に多様な目標が存在しているのが現状である。また、1つの目標の実現のために、さらに細分化して目標を設定している都道府県も珍しくない。そのため、キーワード検索により、包括的に目標を捕らえることができる。

そこで、本稿では指標に関連するキーワード(表 3 参照)を設定し、目標の中に当該語句を含むものをカウントして、都道府県ごとにその度数を算出し比較した。なお、始めに断つたように目標の中でも医療計画など他計画の領域と考えられるものは松本(前掲)の表を参照し、除外している。これは都道府県の担当者によって計画ごとの役割意識が異なっているため、医療計画など他計画で指標を設定している場合もあることが考えられるため、一

様に比較検討し順位付けすることは公平でないと考えられるためである。

さて、それぞれの該当する検索された目標は表3の通りである。健康日本21で設定されている9領域例えば、「睡眠」に関する目標といっても各県ごとに様々な違いがあることに気づかれよう。また、同時に検索の際にキーワードとして使用した語句も記載した。あわせてご確認いただきたい。なお、「喫煙」「飲酒」に関しては、それぞれが健康日本21では1つの領域として扱われているため、目標に語句を含んでいない場合でもそれぞれの領域内の目標であれば目標としてカウントした。すなわち「喫煙」「飲酒」の領域の目標として設定された目標全てをそのままカウントしている。定期的な運動に関しては「運動」をキーワードとして検索したが、さらにその中から「週に〇回」など「定期的な運動」であることを具体的に示した指標にのみ絞って検索しているので注意されたい。

また、冒頭述べたように「予防介入」「疾病罹患」「障害者率」「死亡状況」「主観受留」については、健康日本21がカバーする領域かどうか、一般的な見解は定まっていないようであり、設定している都道府県も散見されはしたが分析の対象として取り上げるには数が少なすぎるためここでは割愛した(しかし、保健医療計画やその他の計画までも含めて幅広く対象として、これらの指標についての目標の設定の有無等を比較検討することは今後の課題といえるかもしれない。)

3.結果

a)各分野における目標概観

表4.各分野の目標の数と種類

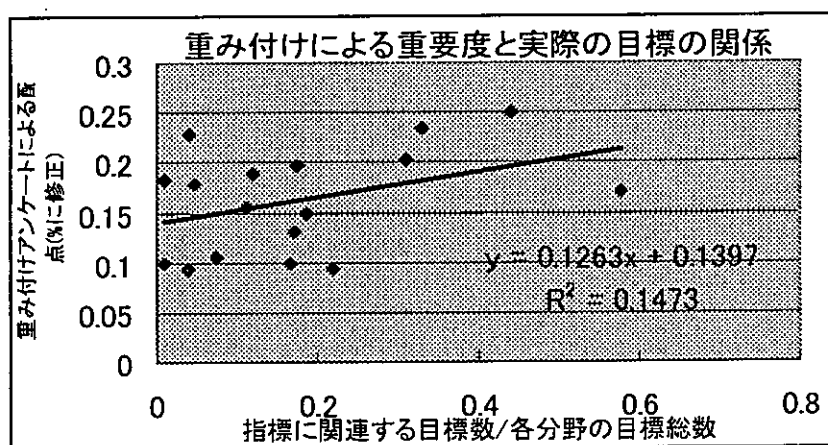
		目標の数(述べ数)	目標の種類
習慣	歩行	123	19
	カロリーバランス悪い	1	1
	高脂肪エネルギー比	48	7
	カルシウム不足	47	16
	繊維不足	11	5
	朝食抜き	49	8
行動	規則正しい食事	24	9
	バランスのとれた食事	10	8
	定期的に運動	123	39
	気分転換の時間あり	16	22
	十分な睡眠時間	40	9
危険要因	肥満(BMI 30以上)	282	27
	高血圧(BPH 140以上)	108	65
	HDL不足	9	8
	血糖値高	9	7
	喫煙	300	—
	飲酒	200	—

以上をみると、1つの領域の目標全体をカウントした「喫煙」と「飲酒」は別として、最も多いものは「肥満」となっていることがわかる。「カロリーバランス」が1つしかないのは、行動のカテゴリに入れられている「バランスのとれた食事」において設定され

ている目標に同様の意図を含めているからであると推察される。逆にこれは、食材や栄養のバランスには配慮すべしとはしていても、カロリーのバランスを取り上げていないというように批判的にみることもできよう。

b) アンケート調査結果と目標順位

松本(2002)で行われた行政担当者、専門家らへのアンケートにより明らかにされた重み付けを利用し、設定された目標数を数えることにより、実際の計画がそれらの意向に沿ったものとなっているのかを確認した。アンケートでは、それぞれの分野ごとに分けられた指標をその重要度により点数を配点し1分野全体で指標への配点の合計が、100点になるようにすることにより指標の重要性を明らかにしている。同様に、ここではそれぞれの分野の目標数の総数に対する各指標に関連する目標の数の割合を求め、先のアンケートの結果と照らし合わせた。しかし、全く両者には相関関係がないことがわかった。つまり、必ずしも専門家、行政官が重要であると認識している目標が重点的に採り上げられているわけではないということがわかった。



c) 各分野ごとの目標数順位とベンチマーキング順位

次に、各分野において目標を設定している数で都道府県の順位付けを試みた(表5の「目標」参照)。これと松本(2002)で行われた、男女別の健康指標に関する県別ベンチマーキングによる順位付けを比較し、相関関係を探った。正の相関があれば、目標を多く設定している(つまり努力をしている)都道府県ほど、実際の健康状態や、生活習慣などが望ましい状況にあるといえるし、逆に負の相関を示すならば、取り巻く状況が良くないゆえに、却って努力、すなわち目標の設定をしているということが出来るかもしれない。しかし、実際の結果は、これらのどれをも示すものではなかった(末尾のグラフ参照)。

4.まとめと考察

現実の状況そのもの、あるいはそれへの認識がほとんど実際の計画づくりに反映されて

いないことは計画の実効性を考慮すれば非常に問題があるように思われる。これには、いくつかの理由があろう。ひとつは、健康日本 21 は本来トップダウンではなく個人への支援を基礎としたボトムアップのアプローチの計画であるにも関わらず、実際の内容は国の計画に追随している点が多いということである。これにより、地域の実情などが反映されないことがあるのかもしれない。健康日本 21 は個人の支援が重要なその成否の鍵を握っている。計画を策定する行政側は、個人により一層近い地域という場の特性を見極め、適切に唱道していく能力が求められている。

参考文献

浅野昌彦「都道府県版健康日本 21 のレビューによる目標値分析」(平成 14 年度厚生科研「健康日本 21 計画の改訂と改善に資する基礎研究」報告書)

松本邦愛「健康日本 21 のための県別健康尺度の開発」(平成 13 年度厚生科研「健康日本 21 計画の改訂と改善に資する基礎研究」報告書)

表1.変数の定義と健康日本21目標値との対比(松本(2002)より)

	変数名	健康日本21での目標	定義
生活習慣	朝食	朝食欠食率の減少	「朝食を取っているか否か」で「否」と答えたものの割合
	繊維摂取	質量ともにきちんとした食事をとする人の増加	一日の摂取量が10g以下のものの割合
	カルシウム摂取	カルシウムに富む食品摂取量の増加	一日の摂取量が600mg以下のものの割合
	脂肪摂取	脂肪エネルギー比率の減少	高脂肪エネルギー比が25%以上のものの割合
	カロリーバランス	質量ともにきちんとした食事をとする人の増加	摂取量が必要量の20%以上多いものの割合
	歩行	日常生活における歩数の増加	一日8000歩以下のものの割合
健康行動	規則正しい食事	質量ともにきちんとした食事をとする人の増加	「規則正しい食事をしているか否か」で「している」と答えたものの割合
	バランスのとれた食事	質量ともにきちんとした食事をとする人の増加	「バランスのとれた食事をしているか否か」で「している」と答えたものの割合
	定期的に運動	運動習慣者の増加	「定期的に運動しているか否か」で「している」と答えたものの割合
	気分転換の時間有	ストレス	「気分転換の時間があるか否か」で「している」と答えたものの割合
	十分な睡眠時間	睡眠	「十分な睡眠時間があるか否か」で「している」と答えたものの割合
	全部実行		上記5項目をすべて実行しているものの割合
危険要因	飲酒	多量に飲酒する人の減少	飲酒は1日1合以上飲んでいるものの割合。
	喫煙	たばこ	「喫煙の有無」で「有」と答えたものの割合
	血糖	糖尿病有病者数の減少	140以上のものの割合
	善玉コレステロール	高脂血症の減少	HDLが40以下のものの割合
	高血圧		収縮期血圧が140以上のものの割合
	肥満	適正体重を維持している人の増加	BMI値25以上のものの割合
予防介入	健康診断	健康診断を受ける人の増加	「健康診断の受診の有無」で「有」と答えたものの割合
	かかりつけ医有		「かかりつけ医の有無」で「有」と答えたものの割合
	アクセス		「受診の必要性の有無」で「有」と答えたもののうち、病院・診療所・老人保健施設に通っているものの割合
	高血圧未発見		収縮期血圧が140以上のもののうち血圧降下剤を飲んでいないものの割合
	高血圧管理		血圧降下剤を飲んでいるもののうち収縮期血圧が140未満のものの割合
	癌検診未把握	がん検診受診者の増加	胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がんの検診受診者のうち未把握のものの割合
疾病罹患	総患者0-14		10万人当たりの0歳から14歳までのすべての患者数
	総患者15-64		10万人当たりの15歳から64歳までのすべての患者数
	総患者65-		10万人当たりの64歳以上のすべての患者数
	退院患者0-14		10万人当たりの0歳から14歳までの退院患者数
	退院患者15-64		10万人当たりの15歳から64歳までの退院患者数
	退院患者65-		10万人当たりの64歳以上の退院患者数
障害者率	寝たきり全体		10万人当たりすべての寝たきり者の数
	寝たきり在宅率		全寝たきり者のうち、在宅の寝たきり者の割合
	寝たきり65-		10万人当たり65歳以上の寝たきり者の数
	軽い障害		「日常生活への影響の有無」で「ある」と答えたものに社会福祉施設入所者で介助が必要な者を合計したもの(10万人当たり)
	脳卒中		寝たきりの原因が脳卒中であるもの(10万人当たり)
	骨折		寝たきりの原因が骨折であるもの(10万人当たり)
死亡状況	健康寿命		生存者の健康状態、障害の状態を考慮した健康指標で、平均寿命から障害を割り引いた健康な状態での寿命のこと。
	全LSM0-64		10万位あたりで0歳から64歳までに死亡する人数。
	癌LSM0-64		10万位あたりで癌によって0歳から64歳までに死亡する人数。
	事故LSM0-64		10万位あたりで事故によって0歳から64歳までに死亡する人数。
	自殺LSM0-64		10万位あたりで自殺によって0歳から64歳までに死亡する人数。
	IMR		1000人当たりの乳幼児死亡率
主観受留	自覚ある		「自覚症状の有無」で「有」と答えたものの割合
	健康状態よい全		「健康意識」で「よい」「まあよい」「ふつう」と答えたものの割合
	健康状態よい65-		65歳以上で「健康意識」で「よい」「まあよい」「ふつう」と答えたものの割合
	生活に支障全		「日常生活への影響の有無」で「ある」と答えたものの割合
	生活に支障65-		65歳以上で「日常生活への影響の有無」で「ある」と答えたものの割合
	ストレス	ストレス	「ストレスの有無」で「有」と答えたものの割合

別表2.アンケート調査で得られたウェイト

生活習慣	運動不足	25.0	障害者率	寝たきり65-	17.3
	カロリーバランス悪い	22.9		寝たきり在宅率	17.6
	脂肪エネルギー比高い	13.1		寝たきり全	22.8
	カルシウム不足	10.0		軽い障害	11.5
	繊維不足	9.3		寝たきり脳卒中	16.5
	朝食抜き	19.7		寝たきり骨折	14.3
健康行動	規則正しい食事	15.5	死亡状況	健康寿命	21.7
	バランスの取れた食事	17.8		全LSM0-64	18.9
	定期的に運動	17.1		癌LSM0-64	17.4
	気分転換の時間有	10.5		事故LSM0-64	11.2
	十分な睡眠時間	15.0		自殺LSM0-64	15.8
	全部実行	24.2		乳児死亡率	15.1
危険要因	肥満	20.2	主観受留	自覚有	19.9
	高血圧	18.9		健康状態良65-	15.2
	HDL不足	9.9		健康状態良全	22.0
	高血糖	18.3		生活に支障65-	12.8
	喫煙	23.4		生活に支障全	13.8
	飲酒	9.3		ストレス	16.4
予防介入	健康診断受診率高	18.3	八項目	生活習慣	15.9
	かかりつけ医有	17.5		健康行動	15.3
	アクセス良	19.1		危険要因	11.2
	高血圧未把握	13.8		予防介入	10.6
	高血圧コントロール	18.7		疾病罹患	12.1
	がん検診結果未把握率	12.6		障害者率	11.1
疾病罹患	総患者0-14	16.5	死亡状況	11.3	
	総患者14-64	23.0	主観受留	12.6	
	総患者65-	19.3			
	退院患者0-14	11.4			
	退患者14-64	15.6			
	退患者65-	14.1			

表3

習慣

カロリーバランス悪い		カロリーの摂りすぎに注意している者
繊維不足	カロリー	食物繊維
		食物繊維を20%以上とる人の割合
		食物繊維摂取量を充足している世帯
		食物繊維のもつがん予防効果を知っている
		食物繊維摂取量を増やす
		1日あたりの平均摂取量食物繊維
		食物繊維を20g以上摂る
朝食抜き	朝食	朝食の欠食率の減少
	朝食欠食	朝食を摂る人の割合
		週二回以上朝食を欠食する人の割合
		主食、主菜、副菜のそろった朝食を食べる人の割合
		朝食欠食者
		朝食を欠食する人の減少
		朝食欠食率
カルシウム不足	カルシウム	必ず朝食を食べる子どもを増やしましょう
		カルシウムに富む食品の平均摂取量の増加
		カルシウム摂取量
		カルシウム摂取量が適正である者
		カルシウム充足率
		カルシウム600mg以上取る人の割合を増やす
		カルシウム充足率80%未満の者の減少
		カルシウム不足の人の割合
		カルシウム不足世帯の減少
		1日カルシウム所要量を知っている
		カルシウム摂取量
		カルシウム充足率
		カルシウムの摂取が必要量の80.0未満の者の割合
高脂肪エネルギー比	脂肪エネルギー	カルシウムに富む食品の摂取量増加
		カルシウム摂取量
		カルシウムの平均摂取量(1日当たり)
		カルシウムを600mg以上摂取する人の割合(1日当たり)
		脂肪エネルギー比率の減少
		脂肪エネルギー比率が適正な人の割合
		脂肪エネルギー比率が適正でない人の割合
運動不足(歩行)	歩行	脂肪エネルギー比率が25%以上の者
		脂肪エネルギーが30%を超えている人の減少
		2割以上エネルギーの過剰摂取をしている人の減少
		脂質エネルギー比率20-25%の人の割合を増やす
		日常生活における歩数
		歩く
		歩数
		日常生活における歩数の増加
		日常生活における歩数の増加(高齢者)
		毎朝30分以上はや歩きする人を10.0増やす
		1日の歩く時間30分未満の人の割合
		1日の歩数が4000歩未満の割合の減少
		1日6000歩以上歩く者
		1日8000歩以上歩く人の割合
		1日10000歩以上歩く人の割合
		なるべく歩くように心がけている方の割合
		徒歩10分で行けるところへ出かける時、主に徒歩で出かける人の増加
歩数計を持っている人の割合		
歩行などの有酸素運動で1日あたり消費するエネルギー1km継続して歩くことのできる人の割合		
散歩をしたり速く歩いたり、乗り物やエレベーターを使わずに歩くようにしている人		
駅やビルでエスカレーター(エレベーター)より階段を多く利用する人の増加		
通勤や買い物、職場内での車、エレベーター・エスカレーターなどを利用する人の減少		
日常生活における1日の歩数を増加させるために、1日一万歩キャンペーン(取りあえず、1日1000歩増やす)の普及啓発を図り、市町村に3年間で定着させる。		
毎日30分以上早歩き等する人		

行動

規則正しい食事	(適宜文章から検索)	量・質ともにきちんとした食事をする者の割合の増加
		毎日朝・昼・夕と三食をきちんと食べている人
		規則正しく食事をとる意識のある人を増やす
		食事を規則正しく食べ、生活のリズムが正しい人の割合
		1日1回30分以上かけて食事をする
		夕食時間を早める人の割合
		夕食を30分以上かける人の割合
バランスの取れた食事	バランス	夜九時までに食事する
		間食を1日3回以上食べる人の割合の減少
		バランスの取れた食事(主食+主菜+副菜)をしている人の割合
		1日最低1食2人以上で主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスのよい食事を30分以上時間をかけてとるものの割合の増加
		1日最低1食2人以上で主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスのよい食事を30分以上時間をかけてとるものの割合の増加
		栄養のバランスに気をつけている人の割合の増加
		栄養バランスを意識して外食や弁当を選べる人
運動習慣	(適宜文章から検索)	過食や脂肪の過剰摂取を控え、量・質ともにバランスのとれた食事をとるように心がけている
		バランスのとれた食事(主食+主菜+副菜)をしている人の割合
		バランスのとれた食事(主食+主菜+副菜)をしている人の割合
		週三回以上意識的に運動やスポーツをして健康づくりをしている人
		運動習慣者の割合
		意識的に運動を心がけている人の増加
		高齢者で運動習慣を持つ者の割合
		運動習慣者の増加
		意識的に運動を心がけている人の増加
		週三回、1回20分以上の運動をする人の割合
		週2回以上運動する者の割合
		1週間に2日以上定期的に運動やスポーツを行っている人(運動習慣者)の割合
		週に1回以上運動している人の割合を増やす
		運動を週1.2回している人の増加
		いつもまたは時々運動している人の割合
		「1日頃から日常生活の中で、健康の維持・増進のために意識的に体を動かすなどの運動をしている人」の増加
		運動習慣者の増加(1回30分以上の運動を、週2回以上実施し、1年以上持続している人)
		「いつも」または「時々」運動している人の割合
		1日30分以上運動する人の割合
		1年以上週1.2回30分以上運動している人の割合
		運動習慣者(週一回以上)
		運動を週1.2回している人の増加
		週二回運動する者の割合
		週3日以上運動する者の割合
		週3回1日30分以上運動する人の割合
		体育の授業以外に運動を週三日以上実施する小・中・高校生の割合
		週2.3回20分以上の運動をしている人の増加
		1日20分以上、週5回程度身体運動を実践する者
		身体を動かす遊び・スポーツを週の内半分以上している
		運動を実施していない人の割合
		1週間の運動時間の増加
		児童・生徒で授業以外で実践する運動時間(小学校6年)遊び(帰宅後)
		児童・生徒で授業以外で実践する運動時間(小学校6年)非活動時間(帰宅後)
		運動スポーツをほとんど毎日する子供の割合
		ふだん運動やスポーツをしている人の割合
		屋外で1日60分以上遊ぶ子供の割合
		週三回、1回20分以上の運動をする人の割合
	週2回以上運動する者の割合	
	運動を週1.2回している人の増加	
	1日20分以上、週5回程度身体運動を実践する者	
	意思的に身体を動かすなど「体を動かすよう心がけてい	
	1週間に2日以上定期的に運動やスポーツを行っている人(運動習慣者)の割合	

気分転換	(適宜文章から検索)	楽しみや生きがいをもっている人の割合
		生きがいや生きる目標を持っている人の割合
		趣味などの心の張りとなるものがある
		楽しみや生きがいのある積極的休養をとる
		積極的に休養をとる人の割合を増やす
		休養がとれている者の割合
		休養が必要と感じたとき休みをとる
		休養が不足していると思う人の減少
		休養が不足・不足がちの人の割合の減少
		リフレッシュ休暇制度の実施
		レクリエーションやスポーツ、趣味など、積極的な休養に取り組んでいる人
		余暇活動時間
		自由時間を有効的に過ごしている人の割合
		趣味を持っている人の割合
		余暇が充実している人の割合
		休日の少ない(1ヶ月4日以下)人の割合
		毎日自分で自由に使える時間がある人の割合
		自由になる時間が1日30分未満の人の割合
		平日の平均自由時間が2時間以上ある人の割合
		平日の自由時間がとれていない人の割合
	家庭や職場での30分間のリフレッシュタイムの実行者	
	仕事をしている時と自由時間とで気持ちの切り替えができていない人の割合	
十分な睡眠時間	睡眠	睡眠によって休養が十分にとれていない人の割合の減少
	眠る	睡眠によって休養が十分にとれている者
		睡眠時間「6時間未満」の者の割合
		この1ヶ月間で、週3日以上眠れないと感じたことのある人を減らしましょう
		0時前就寝率
		普段の睡眠が十分だと思う方の割合
		朝、気持ちよく起きられる人の割合
		睡眠時間が充分で熟睡している人の割合の増加
	目覚めた時に疲労感が残る人の減少	

危険要因

肥満	肥満	肥満者の減少
	BMI	肥満が気になる
	脂肪	成人の肥満者(BMI \geq 25.0)の減少
		40-60代のBMIの平均
		自分の適正体重を知っている者の割合(標準BMI=22)
		肥満者の割合
		肥満児の割合
		児童、生徒(肥満度20.0%以上)の減少
		30歳以上の過体重者と肥満者の合計の割合
		脂肪エネルギー比率の減少
		脂肪エネルギー比率が適正な人の割合
		脂肪エネルギー比率が適正でない人の割合
		脂肪エネルギー比率が25%以上の者
		脂肪エネルギーが30%を超えている人の減少
		動物性脂肪を多く含む食品のとりすぎに注意する人の割合の増加
		中性脂肪高値者の減少(150mg)
		過食や脂肪の過剰摂取を控え、量・質ともにバランスのとれた食事をとるように心がけている
		血清中性脂肪高値者
		自分の中性脂肪値を知っている
		体重・体脂肪率及び血圧測定装置の公共の場への設置
		脂肪エネルギー比が25%以上の人を減らす
		20~40歳代の1日あたりの脂肪エネルギー比率の減少
		脂肪エネルギー比が25%以上の人を減らす
		脂肪摂取を減らす
		脂肪エネルギー比
		脂肪エネルギー比率過剰者の割合
		自分の適正体重を知っている者の割合(標準BMI=22)
血糖	血糖	自分の血糖値を知っている人の割合
		自分の血糖値を知っている人の割合(検査受診者中)
		基本健康診査血糖検査「要医療」の割合
		基本健康診査血糖検査「糖尿病者(疑い含む)」の割合
		空腹時血糖検査110mg/dl以上
		空腹時血糖110-125mg/dl以上の割合
		空腹時血糖126mg/dl以上の割合
高脂血症	HDL	高血糖者の中で治療中断している人の割合の減少
		HDLコレステロール低値者(男女とも40mg/dl未満)
		自分のHDLコレステロール値を知っている人の割合
		HDLコレステロール低値者(男44mg/dl以下、女49mg/dl以下)
		HDLコレステロール低値者(40mg/dl未満)
		HDLコレステロールが正常の者の増加
		低HDLコレステロールの人の割合
	血清HDLコレステロールの低値者の割合	
喫煙	—	「たばこ」領域全体
飲酒	—	「飲酒」領域全体

血圧	血圧	正常血圧(139-90)の人 正常血圧者の増加
		高血圧(最大血圧160mmHg以上あるいは最小血圧95mmHg以上)の人の割合
		高血圧の人(最高血圧140mmHg以上、最小血圧90mmHg以上の人)の割合
		血圧値の平均
		境界域、高血圧の減少
		高血圧境界領域者
		最大血圧の低下
		平均最大血圧値の低下
		高血圧者の割合の低下
		未治療正常血圧者の割合
		血圧有所見者
		高血圧(血圧SCORE2以上)者の割合
		健診において高血圧(境界域を含む)を指摘された者の基本健康診査血圧測定「要指導・要医療」の人の割合の減少※最高血圧160mmHg以上または最低血圧95mmHg以上
		高血圧疾患患者数の減少
		高血圧年齢調整死亡率の減少
		高血圧受療率の減少
		高脂血症健診受診率
		高血圧や循環器疾患の者が定期的に医療機関を受診基本健康診査における血圧要指導・要医療者の割合の減少
		基本健康診査の「高血圧者」の割合
		基本健康診査の「境界域高血圧者」の割合
		高血圧・高脂血症に関する個別健康教育を実施する市町村の割合
		自分の血圧値を知っている人の割合の増加
		血圧の正常値を知っている人の割合
		過去1年間に自分の血圧を測定したことがある者の割合の増加
		自分の血圧を知っている人で健康教育を受けた人の割合の増加
		高血圧(血圧SCORE2以上)者の割合
		高血圧の者
		高血圧年齢調整死亡率の減少
		平均最大高血圧値の改善
		過去1年において健診を受けたことがある人の割合
		正常血圧(139-90)の人 正常血圧者の増加
		高血圧(最大血圧160mmHg以上あるいは最小血圧95mmHg以上)の人の割合
		高血圧の人(最高血圧140mmHg以上、最小血圧90mmHg以上の人)の割合
		血圧値の平均
		境界域、高血圧の減少
		高血圧境界領域者
		最大血圧の低下
		平均最大血圧値の低下
		高血圧者の割合の低下
		未治療正常血圧者の割合
		血圧有所見者
		高血圧(血圧SCORE2以上)者の割合
		健診において高血圧(境界域を含む)を指摘された者の基本健康診査血圧測定「要指導・要医療」の人の割合の減少※最高血圧160mmHg以上または最低血圧95mmHg以上
		高血圧疾患患者数の減少
		高血圧年齢調整死亡率の減少
		高血圧受療率の減少
	血圧健診受診率	
	高血圧や循環器疾患の者が定期的に医療機関を受診基本健康診査における血圧要指導・要医療者の割合の減少	
	基本健康診査の「高血圧者」の割合	
	基本健康診査の「境界域高血圧者」の割合	
	高血圧・高脂血症に関する個別健康教育を実施する市町村の割合	
	自分の血圧値を知っている人の割合の増加	
	血圧の正常値を知っている人の割合	
	過去1年間に自分の血圧を測定したことがある者の割合の増加	
	自分の血圧を知っている人で健康教育を受けた人の割合の増加	
	体重・体脂肪率及び血圧測定装置の公共の場への設置	
	自分の血圧について正しく認識されている方	
	高血圧・糖尿病・高脂血症などの予防に心がけている者の割合	
	自分の血圧の値を知っている人の割合(検査受診者中)	

表5.ベンチマーク順位と目標順位
習慣
男

	ベンチ	目標
富山	1	33
岩手	2	21
岐阜	3	21
三重	4	21
群馬	5	4
愛知	6	12
新潟	7	44
茨城	8	44
千葉	9	4
埼玉	10	33
長野	11	1
福島	12	33
静岡	13	33
高知	14	29
愛媛	15	4
東京	16	12
滋賀	17	21
島根	18	33
青森	19	29
鹿児島	20	21
奈良	21	44
長崎	22	4
香川	23	33
秋田	24	12
栃木	25	21
山梨	26	21
兵庫	27	44
岡山	28	4
熊本	29	12
広島	30	1
神奈川	31	43
石川	32	33
佐賀	33	1
山形	34	12
大分	35	4
和歌山	36	21
宮城	37	42
大阪	38	12
宮崎	39	12
福井	40	29
徳島	41	33
鳥取	42	29
福岡	43	33
京都	44	12
山口	45	4
沖縄	46	4
北海道	47	12

女

	ベンチ	目標
島根	1	33
岐阜	2	21
富山	3	33
三重	4	21
鳥取	5	29
静岡	6	33
熊本	7	12
長崎	8	4
広島	9	1
奈良	10	44
茨城	11	44
山梨	12	21
長野	13	1
秋田	14	12
栃木	15	21
福島	16	33
滋賀	17	21
宮城	18	42
兵庫	19	44
岩手	20	21
高知	21	29
石川	22	33
福井	23	29
愛知	24	12
新潟	25	44
香川	26	33
山口	27	4
山形	28	12
岡山	29	4
宮崎	30	12
京都	31	12
神奈川	32	43
千葉	33	4
和歌山	34	21
東京	35	12
福岡	36	33
埼玉	37	33
鹿児島	38	21
群馬	39	4
大分	40	4
徳島	41	33
愛媛	42	4
大阪	43	12
青森	44	29
佐賀	45	1
沖縄	46	4
北海道	47	12

行動
男

	ベンチ	目標
和歌山	1	12
大分	2	12
山口	3	5
山梨	4	8
新潟	5	46
長野	6	8
群馬	7	12
愛媛	8	1
宮崎	9	21
栃木	10	21
奈良	11	21
北海道	12	21
福島	13	12
広島	14	12
鹿児島	15	12
岡山	16	8
静岡	17	33
京都	18	12
福岡	19	12
東京	20	8
神奈川	21	33
高知	22	33
熊本	23	12
三重	24	33
福井	25	40
山形	26	33
大阪	27	21
秋田	28	1
香川	29	21
鳥取	30	40
青森	31	21
宮城	32	40
埼玉	33	4
千葉	34	21
愛知	35	5
石川	36	40
徳島	37	45
島根	38	21
富山	39	40
滋賀	40	21
沖縄	41	3
長崎	42	5
岐阜	43	21
佐賀	44	33
岩手	45	21
茨城	46	33

女

	ベンチ	目標
長野	1	8
和歌山	2	12
奈良	3	21
大分	4	12
群馬	5	12
愛媛	6	1
山口	7	5
山梨	8	8
熊本	9	12
東京	10	8
北海道	11	21
神奈川	12	33
静岡	13	33
広島	14	12
三重	15	33
福島	16	12
新潟	17	46
宮崎	18	21
千葉	19	21
大阪	20	21
鳥取	21	40
福岡	22	12
栃木	23	21
宮城	24	40
京都	25	12
鹿児島	26	12
香川	27	21
埼玉	28	4
愛知	29	5
秋田	30	1
岡山	31	8
高知	32	33
島根	33	21
長崎	34	5
福井	35	40
山形	36	33
富山	37	40
茨城	38	33
徳島	39	45
石川	40	40
滋賀	41	21
青森	42	21
沖縄	43	3
岐阜	44	21
佐賀	45	33
岩手	46	21

要因
男

	ベンチ	目標
神奈川	1	44
兵庫	2	36
愛知	3	16
東京	4	37
静岡	5	45
埼玉	6	32
奈良	7	39
愛媛	8	2
山口	9	4
福井	10	37
大阪	11	13
京都	12	28
広島	13	10
長野	14	8
富山	15	21
岐阜	16	24
長崎	17	18
石川	18	18
滋賀	19	21
宮崎	20	5
佐賀	21	5
三重	22	9
徳島	23	32
鹿児島	24	21
千葉	25	25
福岡	26	28
鳥取	27	25
高知	28	40
沖縄	29	3
大分	30	1
宮城	31	40
香川	32	18
山形	33	12
岡山	34	5
島根	35	42
群馬	36	32
和歌山	37	28
熊本	38	28
福島	39	25
新潟	40	46
栃木	41	42
青森	42	17
山梨	43	13
茨城	44	46
北海道	45	32
岩手	46	13
秋田	47	10

女

	ベンチ	目標
富山	1	21
佐賀	2	5
兵庫	3	36
岐阜	4	24
岡山	5	5
鳥取	6	25
長崎	7	18
鹿児島	8	21
熊本	9	28
三重	10	9
島根	11	42
奈良	12	39
神奈川	13	44
宮崎	14	5
愛知	15	16
福井	16	37
新潟	17	46
静岡	18	45
東京	19	37
長野	20	8
広島	21	10
福岡	22	28
滋賀	23	21
石川	24	18
大阪	25	13
愛媛	26	2
沖縄	27	3
山形	28	12
秋田	29	10
岩手	30	13
徳島	31	32
山口	32	4
和歌山	33	28
香川	34	18
京都	35	28
埼玉	36	32
宮城	37	40
高知	38	40
千葉	39	25
茨城	40	46
大分	41	1
山梨	42	13
栃木	43	42
群馬	44	32
福島	45	25
北海道	46	32
青森	47	17

目標数順位と健康指標順位

